

循環経済

ENVIRONMENT 

▶方針・考え方

当社グループは、産廃リサイクル率の維持・向上を目標として、これまで3R (Reduce、Reuse、Recycle)活動をはじめ、事業活動に伴う廃棄物の発生抑制や再使用、再資源化など、資源循環に継続して取り組んできました。

近年、地政学リスクの顕在化や世界的な資源需要の増加など、資源を取り巻く環境が大きく変化する中、資源の安定確保は重要な課題となっています。こうした中、循環経済(CE)への移行は、環境負荷の低減にとどまらず、経済安全保障・資源安全保障の強化や産業競争力の向上にもつながるものとして、その意義が広がっています。

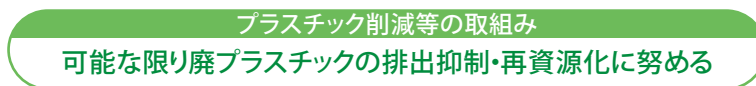
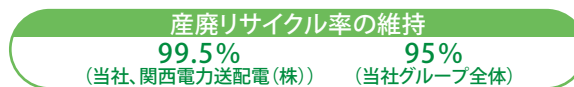
発電・送配電・情報通信設備等に多くの資源を必要とする当社グループにとって、設備の長寿命化や再利用・再資源化等を通じて一次資源への依存を低減し、資源の安定確保と調達リスクへの耐性を高めることは、事業の持続性と競争力を支えるうえで重要です。こうした認識のもと、これまでの資源循環の取り組みをさらに発展させ、資源面から事業基盤を支えるとともに、資源の有効活用や新たな価値の創出を通じて、事業の持続性と競争力の向上、さらには社会全体の循環経済の実現に貢献していきます。

◆＜関西電力グループ環境方針 3. 循環経済の推進＞

3. 循環経済の推進

関西電力グループは、天然資源が限りあるものであることを認識し、事業活動において、ライフサイクル全体を通じて天然資源の消費および廃棄物の発生を抑制するとともに、3R (Reduce、Reuse、Recycle)による資源の循環利用を推進します。また、資源の有効活用や新たな価値の創出を通して、社会全体の循環経済の実現に貢献します。

▶目 標



▶取り組み

●産業廃棄物への取り組み

当社グループが排出する主な産業廃棄物には、石炭火力発電所から発生する石炭灰や、配電工事に伴い発生する廃コンクリート柱のがれきなどがあります。当社グループは、循環経済の実現に向け、産業廃棄物のリサイクル率について「99.5%以上(当社および関西電力送配電(株))、95%以上(当社グループ全体)」という目標を掲げています。この目標の達成に向け、石炭灰をセメント原料や道路の路盤材等として全量リサイクルするなど、廃棄物の発生抑制や資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。2025年度のリサイクル率は、全社大でのリサイクルの取り組みにより、当社、関西電力送配電(株)が99.8%、当社グループ全体では96.0%となり、目標を達成しました。

一般廃棄物については、オフィスから排出されるコピー用紙などの減量化やリサイクルに取り組んでいます。

●プラスチック削減等の取り組み

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に対応するため、プラスチック使用製品産業廃棄物等の排出量把握および排出の抑制ならびに再資源化について目標を設定し取り組んでいます。また、設備運用や工事等に伴い発生する廃プラスチックをリサイクルするとともに、関西電力本店社屋売店におけるレジ袋の削減やマイボトル活用、本店から排出されるペットボトルの水平リサイクル※に取り組んでいます。

※使用済の製品から再び同一製品を製造するリサイクル

(プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づく目標と実績)

2026年度目標：可能な限り廃プラスチックの排出抑制、再資源化に努める

2025年度排出量実績：当社 415.6 t、関西電力送配電(株) 565.9 t

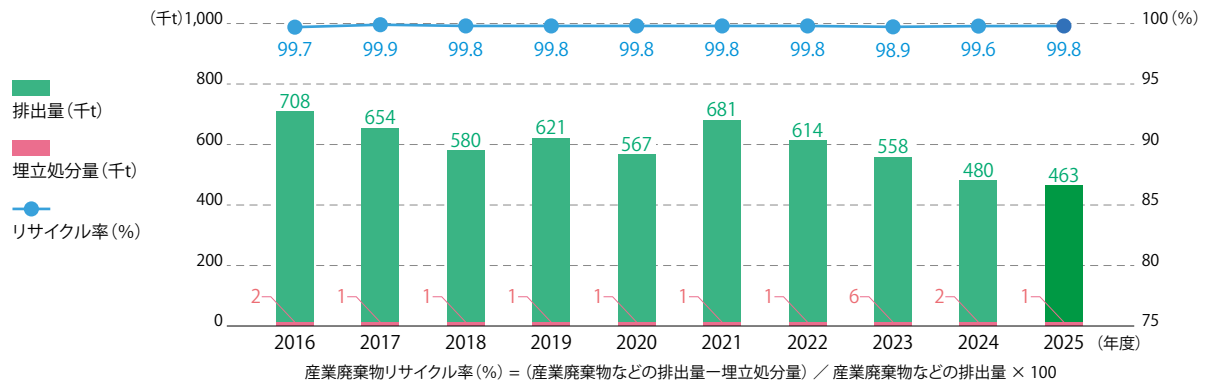
●グリーン調達への推進

当社グループは循環型社会の構築に向けてグリーン調達を推進しています。

◆グリーン調達の基本的な考え方

- (1) 調達するすべての物品や工事で使用する建設機械・工法が、環境に対して何らかの負荷を与えているという認識を持ち、可能な限り、環境負荷低減に配慮したオフィス用品や資機材、建設機械・工法を購入・使用します。
- (2) 物品の購入時には、その物品が本当に必要か否かの再考(Rethink)を行うとともに、購入量の節減(Reduce)を検討する。
また、購入物品の長期使用および不用となった物品の他所での再使用(Reuse)、再資源化(Recycle)、修理(Repair)に努めます。

◆産業廃棄物などの排出量とリサイクル率の推移



取組み事例は[統合報告書P.38](#)をご参照ください。

[関西電力グループ 統合報告書](#)

● パフォーマンスデータ

● 廃棄物関連※1※2

		単位	2023年度	2024年度	2025年度
産業廃棄物等排出量		千t	557.6	479.9	462.7
			(609.8)	(526.8)	(511.7)
	・ばいじん(重原油灰、石炭灰など)		340.8	288.3	291.2
			(340.8)	(288.3)	(291.2)
	・汚泥(脱硫石こう、排水処理汚泥など)		97.9	88.3	81.6
			(101.2)	(93.4)	(93.6)
	・燃え殻		41.0	28.8	26.8
			(41.0)	(28.8)	(26.9)
	・がれき類(コンクリート電柱など)		15.8	15.4	15.7
			(48.1)	(42.3)	(38.8)
	・金属くず		25.2	36.7	24.5
			(26.4)	(37.9)	(26.0)
	・ガラス・陶磁器くず(保温材くず、磚子くずなど)		1.6	2.2	2.2
			(7.6)	(5.6)	(3.9)
	・廃油		3.2	2.0	1.6
			(4.2)	(2.6)	(2.5)
産業廃棄物埋立て処分量	・廃プラスチック	千t	0.9	1.1	1.0
			(2.5)	(4.1)	(2.6)
	・(再掲)灰・石膏		459.1	399.8	390.7
			(459.1)	(400.2)	(390.7)
	・その他		31.2	17.2	18.0
			(37.5)	(23.9)	(26.0)
	(再掲)特別管理産業廃棄物		17.3	16.8	17.6
			(17.6)	(16.9)	(17.9)
			6.2	1.8	1.16
			(15.2)	(14.2)	(20.4)
	・ガラス・陶磁器くず(保温材くず、磚子くずなど)		0.13	0.79	0.55
			(1.0)	(1.4)	(1.7)
	・汚泥(排水処理汚泥など)		0.40	0.02	0.07
			(1.7)	(3.9)	(11.1)
	・がれき類		0.00	0.01	0.00
			(3.1)	(3.8)	(1.5)
産業廃棄物リサイクル率※3	・燃え殻	千t	4.54	0.01	0.01
			(4.54)	(0.01)	(0.01)
	・廃プラスチック		0.15	0.26	0.22
			(0.6)	(0.6)	(0.9)
	・金属くず		0.08	0.03	0.02
			(0.1)	(0.1)	(0.2)
	・その他		0.88	0.67	0.27
			(3.8)	(4.4)	(4.7)
	(再掲)特別管理産業廃棄物を除く総処分量		5.34	1.14	1.08
			(14.1)	(13.5)	(20.2)
		%	98.9	99.6	99.8
			(97.5)	(97.3)	(96.0)
	灰・石膏リサイクル率※3		100	100	100.0
			(100)	(100)	(100)

※1 端数処理の関係で合計が合わない場合があります。

※2 括弧書きはグループ会社を含めた数値(一部会社を除く)

※3 産業廃棄物リサイクル率＝[(産業廃棄物などの排出量－埋立て処分量)÷(産業廃棄物などの排出量)]×100

※補捉率はp.23のとおり